

要旨	市の考え(案)	基本方針
魅力的な学校づくりが必要。中高一貫校や小中高一貫校も検討してほしい	本市では、小中一貫教育グループの教員はもとより、地域全体で地域の児童・生徒一人ひとりの成長を支えながらさまざまな課題を解決するための基盤として、義務教育9年間を見通した小中一貫教育を行っています。小中一貫教育を通して、小中合同の活動、学力の保障、小中での情報共有、学校・地域とともにある学校づくりに努めております。高等学校については、市立学校ではないため、一貫校として実現はできませんが、中学校の進路指導等において、高等学校への円滑な接続に向け、教員への研修を含めて努めてまいります。	基本方針1
オンライン授業にして欲しい。 ほか2件	オンライン授業により感染症の拡大を防ぐことができ一方で、コミュニケーションが取りづらくなるなど、学習が難しくなる場合もあります。対面の授業を基本としつつ、コロナ禍のような非常事態が起きた際にオンライン授業にできる体制を作れることが重要と考えています。	基本方針1
休み時間に学習用端末でプログラミングをさせてほしい	休み時間の使用について、使用時間と使用目的を考えなくてはなりません。目に与える影響や休み時間の過ごし方について、学校でのまじりがあると思います。休み時間をすべて使用するのではなく、使用する期間や授業の進み具合と合わせて、休み時間の使用について考える必要があると思います。	基本方針1
学習環境を良くしてほしい	学校の備品については、毎年、各学校が決められた予算の中で整備できるようになっています。学習環境の改善を図るため、1人1台の端末配布にあわせ、全校の照明をLED化したことや、新型コロナウイルス感染症の経路を踏まえた自動手洗水性の導入は、都内自治体の中で最も早い対応です。今後も、児童・生徒の皆さんが学校生活を過ごしやすくなるよう、限られた予算を効果的に活用していきます。	基本方針1
家庭を人工芝やウッドチップにして欲しい ほか8件	人工芝やウッドチップの家庭は根拠をしっかりとというメリットがありますが、人工芝は夏場に熱がこもりやすく、カビが発生するなど、また、ウッドチップも、競技内容によっては実施が難しくなったり、カビが発生などのデメリットがあります。そのため、現時点で、家庭を人工芝などに改修することはできませんが、今後も、児童・生徒の皆さんが安全・安心に過ごすことができるよう学校施設の運営を行っていきます。	基本方針1
学校にエアコンがほしい	学校体育館への空調機については、令和6年度に50校、令和7年度に39校に設置する計画であり、改築中の学校を除いて、全校設置が完了します。一方で、空調機の利用は地球温暖化の要因の一つにもなりますので、こまめな節電にもご協力をお願いします。	基本方針1
学校の水道を温水が出るようにしてほしい。	冬季など、手洗い時に水道水が冷たく感じることがあると思いますが、本市は107校の学校があるため、児童・生徒の皆さんが学校生活を送る中で怪我をすることの無いよう、不良箇所の修繕や改修を優先して実施していますので、現時点で対応することはできません。今後も、児童・生徒の皆さんに何が必要かを考えながら、安全・安心に過ごすことができるよう学校施設の運営を行っていきます。	基本方針1
生き物を大切に扱うことの大切さに気付いてほしいので、学校に池を作ってほしい。	池を作るには大きな手間と時間がかかるため、難しいですが、生き物の大切さを知ることが大事だと考えています。今後も、生き物の大切さを学ぶ機会を学校で提供していきます。	基本方針1
八王子市の学校全体に水そうと魚を配ってほしい	魚も生き物の一種ですが、生き物は魚だけではなく、学校で何の生き物を育てるかは学校ごとに決めています。魚だけでなく、いろいろな生き物の大切さを学ぶことが大事だと考えています。また、市役所の本庁舎で水槽の展示を行っていますのでぜひ見に来てください。	基本方針1
体育が強い子に体育をやらせてほしい	健康な体を作るためには、運動が大切ですが、体育が強い人も確かにいます。運動が苦手な人でも楽しめるような体育の授業ができるようにすることが大事だと考えています。	基本方針1
お仕事体験ができる場所がたくさん欲しい	八王子市では、職業体験や職業見学を受け入れてくれる企業がたくさんあります。学校の授業として受け入れてくれているところもあれば、個人で申し込めるところもあるので、各企業のホームページなどで調べてみてください。	基本方針1
国際的な教育機関を充実させてほしい	本市近郊にある25校の大学・短大・高専のキャンパスには、国際的な学びを深める学部も含め、多様な学部が設置されています。こうした「学園都市」としての本市の特性を活かし、市では、大学等の教育活動の支援や、本市近郊の25校が加盟する大学コンソーシアム八王子を中心とした大学等の連携を強化することにより、大学等が行う高等教育の振興とともに地域の活性化につなげていきます。	基本方針1
体験格差は家庭の環境によって必ず起きますので、近くで安く参加できるイベントに子どもたちが参加できる機会を大人が積極的に企画計画すべき	子ども体験機会の確保は市としても重要な課題と考えています。子どもへの体験機会の提供及び子どもに体験機会を提供する団体の支援を継続して行っています。	基本方針1
八王子の行事やイベントを増やしてほしい ほか1件	八王子市には非常に多くのイベントや行事があり、知らなかったイベントもあると思います。八王子市シティプロモーションサイトの「春夏秋冬イベント」のページや公式ホームページのイベントカレンダーで検索してみてください。子ども向けのイベントについては子育て応援サイトのイベントカレンダーで、年齢や場所で絞り込みもできますのでご確認ください。	基本方針1
j:COMホールでアーティストのライブをやってほしい	j:COMホールでは定期的にアーティストのライブを実施しています。詳細はj:COMホールのホームページを確認してください。	基本方針1
八王子ユースオーケストラの公演をj:COMホールにしてほしい。	八王子ユースオーケストラの活動は、これまで主に芸術文化会館で行っていましたが、大規模改修工事により令和5年11月から令和7年6月まで休館のため、令和6年度の公演は南大沢文化会館において行いました。芸術文化会館は令和7年7月にリニューアルオープンしますので、以降の活動は芸術文化会館で行う予定です。八王子ユースオーケストラ事業の実施主体である公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団に今後の事業運営の参考としてご意見を共有します。	基本方針1
自然に関するイベントや自然と触れ合える場所がほしい ほか3件	八王子市では、自然観察会など自然に関するイベントを定期的に行っています。また2026年10月にオープン予定の八王子駅南口集いの拠点などみどりに触れ合える場所を増やすほか、まちに新たなみどりを創出し、人の目にふれるみどりを増やしていきます。	基本方針1
みどりをもっと増やしてほしい ほか2件	身近な公園や適切に管理された街路樹などみどりは、まちの景観をつくり四季を感じることができます。本市は「みどりの質の向上」「みどりの量の確保」「みどりを守る(パートナーづくり)」を基本方針に緑化や緑地保全に取り組んでいます。引き続き公園や市街地にもみどりを確保する取組を推進していきます。	基本方針1
こども屋台選手権を別のジャンルでやってほしい。	こども屋台選手権は青年会議所が主催しているイベントです。具体的などのようなジャンルのイベントをやってほしいか青年会議所の方と相談してみてください。	基本方針1
野鳥がたくさん見れる場所ができてほしい	八王子市内にはいろいろな野鳥が見れる場所があります。また、野鳥の観察を行う団体もありますので、「八王子市公式ホームページ 自然観察」で検索してみてください。	基本方針1
動物園や水族館、科学館、恐竜博物館がほしい ほか1件	令和8年(2026年)10月に八王子駅南口集いの拠点で開設予定の歴史・郷土ミュージアムは、目指すべき博物館像を「地域への愛着や誇りを感じるミュージアム」とし、これまでの郷土資料館の活動実績を継承しながら、八王子の歴史文化(それらを取り巻く自然環境を含む)を学び、守り、広く伝えるときともに、共創の考え方を重視し、市民や地域に広く開かれ、未来へ向け成長し続ける博物館として、国宝や重要文化財も展示可能な施設を目指しています。歴史・郷土ミュージアムは、ミライを担う子ども・若者の育成のため「豊かな感性を育てる遊びや体験機会」「若者の活動・体験機会」「子ども・若者の居場所づくり」を充実していきます。	基本方針1
「八王子市子ども宣言」の中に「わたしたちは、がまんすることの大切さを理解するとともに・・・とあるがその部分は不要と考える。	子ども宣言は子どもと大人と一緒に作り上げたもので、子どもの意見も反映されているものになります。しかし、制定から時間がたっていることもあり、内容については見直しを検討していきます。	基本方針1
室内の遊び場が欲しい ほか11件	室内で遊べる場所については、はちびバで遊べるほかに、一部の学校を除き、放課後こども教室を実施しています。また、市民センターもフリーコナーなどの利用が可能ですので、近くにはないか検索してみてください。	基本方針1
ものを片付けるなど室内の遊び場でのルールを徹底してほしい	室内の遊び場では使ったものをもとに戻すというルールが決まっている場合が多いですが、守られていないケースもあると思います。マナーが守られるかは周りの人の影響も大きいです。おもちゃをしっかりと元に戻す様子を周りに見せていただんだんと周りも変わってくるかもしれません。状況がひどい場合は施設のスタッフの人に声をかけてください。	基本方針1
放課後に遊べる場所がほしい	放課後に子どもだけで遊びにいける場所については、はちびバで遊べるほかに、一部の学校を除き、放課後こども教室を実施しています。「はちびバ」や「放課後こども教室」で検索してみてください。	基本方針1
魚について学べる施設や機会を作ってほしい。 ほか39件	生き物について学ぶことは大事だと考えています。引き続き学校などで生き物について学ぶ機会を作っていきます。	基本方針1
魚が傷つけないように保護してほしい ほか3件	自然生物の保護は生物多様性の確保の観点からも重要だと考えています。魚に限らず、生態系を壊さないよう取り組んでいきます。	基本方針1
スポーツができる施設や公園を作ってほしい。 ほか16件	市では用地の取得が難しいことから、新たな公園の整備は難しい状況ですが、老朽化した施設の更新時期などに合わせて、必要に応じてスポーツ施設や遊具などの新設を行っています。その際、公園の位置や規模、周辺の状況、および近隣住民の方々の意見などをふまえ、整備する施設の内容を検討しています。特にボール遊びについては、ボール使用ができる公園を増やしてほしいというご意見がある一方、高齢者や乳幼児連れなど、他の利用者の安全確保、早朝・夜間のボール使用による騒音や、ボールによる個人宅の施設の損傷など、課題も多く、ボール遊びを禁止してほしいという意見も寄せられているため、慎重に検討しているところです。	基本方針1
子どもだけで相談ができ、プライバシーが守られる相談機関が欲しい。 ほか1件	子ども家庭支援センターでは、親や先生に相談できないような悩みを相談することができます。悩みがあれば、042-656-8225までお電話ください。また、教育センターでもいじめやその他生活上のさまざまな問題や悩み事について相談できる子ども電話相談を受け付けています。042-664-3665までお電話ください。	基本方針1
差別をなくすよう指導してほしい。	子どもの権利条約では、すべての子どもはいかなる理由でも差別されないことが定められています。八王子市では、学校で子どもの権利について取り扱っているほか、「八王子市子ども宣言」の周知を通じて子どもの権利の普及啓発に努めています。	基本方針1

図書館の本の数を増やし、自習スペースを広げてほしい。	図書館では、読みたい本を直接リクエストすることができます。ホームページやカウンターでスタッフにお尋ねください。また、中央図書館では夏休みや春休みの間、子どもが自由に使えるスペースを用意しています。ここでは、本を読んだり、勉強したりできます。使える日は図書館のホームページでお知らせしますので、ご覧ください。 また、自習スペースの充実を願う声にお応えするため、令和8年10月に、八王子駅南口に「集いの拠点（仮称）」という新しい施設を開館予定です。「集いの拠点（仮称）」では、児童書やマンガなどを揃えた「憩いライブラリ」をはじめ、静かに集中して勉強できる場所や、友達と一緒に楽しく学ぶことができるグループスペース、さらには少し話しながら学べる場所など、さまざまな使い方ができるように設計をしています。学校帰りや休日に安心して利用できる場所として、この施設を皆さんに使ってもらえることを期待しています。詳細や今後の予定は以下のサイトをご覧ください。 https://boji-centralpark.jp/	基本方針1
図書館をもっと作ってほしい ほか13件	図書館などの公共施設の設置は市全体のバランスを考えて行っています。できる限りみんなが使いやすいように整備をしていきます。 また、令和8年10月に、八王子駅南口に「集いの拠点（仮称）」という新しい施設を開館予定です。「集いの拠点（仮称）」では、児童書やマンガなどを揃えた「憩いライブラリ」をはじめ、静かに集中して勉強できる場所や、友達と一緒に楽しく学ぶことができるグループスペース、さらには少し話しながら学べる場所など、さまざまな使い方ができるように設計をしています。学校帰りや休日に安心して利用できる場所として、この施設を皆さんに使ってもらえることを期待しています。詳細や今後の予定は以下のサイトをご覧ください。 https://boji-centralpark.jp/	基本方針1
近くにはちびバがほしい ほか6件	将来的な人口減、税収減、担い手の人材不足などの理由により、市の施設をこのまま維持し、経営していくことは不可能になることが見込まれていることから、新たな児童館は作らないことになっています。	基本方針1
はちびバにWi-fiを入れてほしい ほか5件	はちびバでは、運動能力、感性、協調性など、心身の育成を図る狙いから、運動遊び、読書、工作、伝統遊び、体験遊びなど、デジタルツールから離れた遊びを大切にしています。Wi-fiは、将来にわたり入れる考えはありません。	基本方針1
はちびバで勉強用の机を置いてほしい。	はちびバは、原則、遊ぶ場所ですので、学習の場所としてお使いいただくことは想定していません。施設によっては、試験前日に自習スペースを設けることがあります。ただし、施設の広さ、使える部屋の数、行事の都合などの事情で、設けることができる施設とできない施設があります。いただいたご意見は、参考とさせていただきます。各施設にお伝えいたします。	基本方針1
はちびバを日曜日にもあけて、7時までしてほしい。	はちびバは、令和5年10月まで、夜7時まで開館し、月に一度、日曜日も開館していました。しかし、虐待や学校に行けないなど、困っている子どもが増え、その支えとなる業務が多くなりました。そこで、はちびバの職員がその業務に向き合えるように、開館日・開館時間を子どもに関連する他の施設や機関と調整しやすい現在の形に変更しました。当面は、現在の開館日・開館時間を継続していきます。	基本方針1
はちびバの本を増やしてほしい	はちびバの図書については、図書の設置可能量に限りがあるため、各施設ごとに、毎年どのくらいの量を購入するか考えながら購入しています。「本がたくさんあるといいな」というご意見は、各施設にお伝えします。	基本方針1
多機能な児童館がほしい	現在、児童館機能を持つはちびバでは、その広さや設備に制約がある中で、子どもからの色々な遊びの希望を取り入れつつ、運動遊び、ボードゲーム、カードゲーム、工作・手芸など、できる限り様々な遊びができるよう、工夫に努めています。なお、市の施設をこのまま維持し、経営していくことは不可能になることが見込まれていることから、新たな児童館の建設や、遊びの機能を増やすための増築はしないことになっています。	基本方針1
八王子にほしい民間施設がある。 ほか31件	民間施設の具体的な立地については、民間事業者の判断によりますが、駅前などの中心市街地においては、中心拠点にふさわしい都市機能の集約により、にぎわいの創出を図ることとしております。	基本方針1
駅のトイレに手洗石鹸をつけてほしい	駅の運営については、鉄道会社で管理をしています。ホームページから要望をすることもできますので、ご確認ください。	基本方針1
駅のホームにホームドアを設置してほしい。 ほか2件	鉄道利用者と列車の接触や線路への転落を防止し、駅ホームにおける安全性向上を図るため、鉄道事業者が実施するホームドアの整備事業に要する費用の一部を補助しております。八王子みなみ野駅については、令和7年度に整備が完了する予定です。	基本方針1
駅の乗り換えを減らしてほしい	乗り換えは面倒に感じるかもしれませんが、乗り換えがないと1つ路線しか使うことができません。複数の路線が駅でつながっているからこそいろいろな場所に行けます。鉄道網ができた歴史については国土交通省のホームページにも掲載されていますので調べてみてください。	基本方針1
学校のトイレにウォッシュレットをつけてほしい	トイレのウォッシュレットは確かに便利ですが、本市は107校の学校があるため、児童・生徒の皆さんが学校生活を送る中で怪我をすることの無いよう、不具合の修繕や改修を優先して実施していますので、現時点で対応することはできません。今後も、児童・生徒の皆さんに何が必要かを考えながら、安全・安心に過ごせるよう学校施設の運営を行っていきます。	基本方針1
公園や遊具を増やしてほしい。 ほか31件	老朽化した遊具は計画的に新しいものに取り替えしていきます。	基本方針1
既存の公園について、遊具の更新など保守管理を充実してほしい。 ほか4件	老朽化した遊具の更新を順次行っています。その他の老朽化した設備についても順次整備を実施していきます。	基本方針1
ボールが使える公園を増やしてほしい ほか5件	公園におけるボール遊びについては、ボール使用ができる公園を増やしてほしいというご意見がある一方、高齢者や乳幼児連れなど、他の利用者の安全確保、早朝・夜間のボール使用による騒音や、ボールによる個人宅の施設の損傷など課題も多く、ボール遊びを禁止してほしいという意見も寄せられているため、慎重に検討しているところです。 市では、公園の規模や施設の設置状況、近隣住民の方々の意見などを伺い、周辺の住環境に配慮しながら、少しでもボール遊びができる公園を増やしていけるよう検討を進めます。	基本方針1
アスレチックのある公園がほしい	市では用地の取得が難しいことから、新たな公園の整備は難しい状況ですが、老朽化した施設の更新時期などに合わせて、必要に応じてスポーツ施設や遊具などの新設を行っています。その際、公園の位置や規模、周辺の状況、および近隣住民の方々の意見などを鑑み、整備する施設の内容を検討しています。 アスレチック施設整備の計画は今のところありませんが、市内にはローラースライダーやターザンロープのある公園などもあります。そちらを利用していただけると嬉しいです。	基本方針1
公園のトイレをきれいにしてほしい ほか9件	トイレについては、快適にご利用いただけるよう引き続き定期的な清掃を行い管理していきます。	基本方針1
公園のトイレを増やしてほしい ほか4件	老朽化しているものについて、再整備を行っています。	基本方針1
公園のトイレにドアを付けてほしい	老朽化しているものについて、再整備を行っています。	基本方針1
公園のベンチを直して、増やしてほしい ほか1件	定期的な点検を行っておりますが、必要なものについて適宜修繕を行っていきます。	基本方針1
公園に時計を付けてほしい ほか1件	以前に比べ時計の必要性が低くなっており、現在新たな設置は行っていません。タケや小竹のメロディを目安に、暗くなる前に帰宅するようにしてください。	基本方針1
子どもの体験機会を増やす案は大変意義で、バラエティを増やしてほしい。	八王子市では、トイドイ・オーケストラや学校での単人体験など芸術に触れる機会を定期的に提供しています。今後も、引き続き様々なジャンルの芸術体験ができる場を確保していきます。	基本方針1
小さい子が遊べるところを増やしてほしい	八王子市では、0～概ね3歳未満の子どもと保護者が無料で遊べる子育てひろばを実施しています。部の認可保育所や認定こども園においては、子どもと保護者が相互に交流できる場所として、子育てについての相談、情報の提供、助言などの援助を行っています。また、はちびバの子育てひろばでは、0～3歳未満に加え、3歳～就学前の子どもも利用することができます。	基本方針2
ファミリーサポートセンターの手続きを簡素化してほしい。 ほか1件	現在、ファミリー・サポート・センター事業に関する手続きは、登録申請の電子化を行い簡素化を図っています。引き続き、報告書の電子化や支払方法など導入の検討を行い、利便性の向上に努めていきます。	基本方針2
ハロペバサポートの内容を拡充してほしい。（ミルクの準備だけでなく飲ませられるなど）	ハロペバサポートはヘルパー派遣を行い家事負担軽減を図ることにより、お父さんと触れ合う時間確保を目的とし開始した事業です。育児サポートに対する声も聞かれますが、家事と育児のサポートを担える事業者の確保に課題があります。そのため令和5年度より二人同時に授乳をするなど育児の手が複数必要である多胎児からサービス拡大をしました。 単胎児へのサービス拡大に向けて、対応可能な事業者拡大に対する検討を行っているところです。	基本方針2
子育て当事者が子育て経験者に相談ができる場所を作してほしい。	子育てひろばでは、子育て当事者が専門のスタッフに相談ができます。また、子育て当事者同士が交流することもでき、子育てに対する不安の軽減に取り組んでいます。	基本方針2
預かり保育がない時や、通院したいのに預かり保育の予約が取れない場合、保育園でも一時預かりをしてほしい	八王子市では、仕事や病気などの理由やリフレッシュのために子どもを預かることができる一時預かり事業を実施しています。原則として、保育所や幼稚園、認定こども園などに在籍していない児童を対象としています。在籍施設が休園等で預けられない等の事情がある場合には、定員や利用状況等に応じて預けられる場合がありますので、詳しくは各施設にお問い合わせください。	基本方針2
小さな子供を1時間程度預かってくれる施設があった方がよい。	八王子市では、仕事や病気などの理由やリフレッシュのために子どもを預かることができる一時預かり事業を実施しています。また、JR八王子駅直結のゆめきっぷでは、日曜日と祝日に一時預かりを実施しています。利用料金は、1利用区分（90分）につき、1,000円です。	基本方針2
子供のインフルエンザワクチン接種の補助をしてほしい	インフルエンザから子どもを守ることは重要と考えています。いただいた意見も参考にしながら、令和7年度以降のインフルエンザワクチン接種の補助について検討していきます。	基本方針2
夏休みなどの長期休暇期間中は、学童保育所でも給食を提供してほしい。	八王子市の学童保育所では夏休み期間中に学校給食施設を活用した昼食を提供する取組を令和元年から行っています。学校給食施設を使った昼食提供を行っているのは都内でも八王子市のみとなっています。令和7年度には全施設に拡大し、今後引き続き行っていく予定です。	基本方針2
待機児童を2022年度から続けていることについては大変すばらしいが、子どもたちが安心して過ごせる本来の学童保育所のあり方が実現できておらず、また、学童保育を行うための十分な設備や環境ができていない状況である	学童保育のための設備や環境など質の向上については待機児童ゼロを達成した今、次に取り組むべき課題であると認識しています。これまでも指導員の配置基準の見直しや施設の学校内への移転による安全確保、保育面積の見直しなど積極的に取り組んできましたが、今後も引き続きより良い保育環境の確保に取り組んでまいります。	基本方針2

八王子市の合計特殊出生率が1.02で全国平均の1.20を下回っているとするがその原因を解析する必要があると考える。	八王子市では、少子化対策の検討を行うため、少子化対策地域評価ツール活用検討会で現状の分析を行いました。今後、分析結果に基づき、少子化対策に取り組んでいきます。	基本方針2
ショートステイ施設の安全性向上にも市も介入してほしい。	ショートステイ事業の委託施設は、児童福祉法第7条に規定する児童福祉施設、東京都認証保育所事業実施要綱に規定する認証保育所等となっています。それらの事業を実施するにあたって危険がないよう注意を払い、適切に運営を行っています。 詳細な安全管理においては、八王子市と委託事業者による情報共有により協議を適宜行い、指導をしています。	基本方針2
乳幼児健診時に短時間で実施できるふれあい講座やタッチケアの紹介を取り入れ、さらに地域の人材を活用してほしい。	パパママクラス、産後ケア事業、乳幼児健診、SNS相談等の母子保健事業全般においては、安心して妊娠・出産・育児ができるよう地域の医師会や助産師会等と連携しながら実施しているところです。 今後も、地域関係機関と意見交換しながら事業の充実を図ってまいります。	基本方針2
パパママクラスの内容にベビーマッサージやタッチケアを取り入れてほしい。	パパママクラス、産後ケア事業、乳幼児健診、SNS相談等の母子保健事業全般においては、安心して妊娠・出産・育児ができるよう地域の医師会や助産師会等と連携しながら実施しているところです。 今後も、地域関係機関と意見交換しながら事業の充実を図ってまいります。	基本方針2
個人や団体が提供する居場所づくりを支援する仕組みを強化してほしい。	八王子市では、地域子ども支援事業（はちおうじミライ応援団）として、子どもに居場所を提供する団体を支援する取組があります。登録方法などは「はちおうじミライ応援団」で検索してください。	基本方針2
産後ケア事業の内容にベビーマッサージやタッチケアを取り入れてほしい。	パパママクラス、産後ケア事業、乳幼児健診、SNS相談等の母子保健事業全般においては、安心して妊娠・出産・育児ができるよう地域の医師会や助産師会等と連携しながら実施しているところです。 今後も、地域関係機関と意見交換しながら事業の充実を図ってまいります。	基本方針2
保育園に持っていく荷物が多いため、減らしてほしい。また、おむつや衣服、靴等もサブスクにしてほしい。	市内の私立保育所、幼稚園、認定こども園等においては、施設ごとに理念や目標を掲げ、子供や保護者の状況及び地域の実情等を踏まえて保育が行われており、その内容は、施設ごとの独自性や創意工夫が尊重されます。 しかしながら、子ども及び保護者の双方にとって過度な負担を強いものは、送迎時も含めた安全性の確保といった観点から望ましいものではない場合もあるため、必要に応じて各施設に指導・助言してまいります。 また、おむつのサブスクリプションサービスについては、現在実施している先行自治体やサービス事業者への状況確認に加えて、保護者へのアンケート調査を実施し、対応を検討してまいります。 公立保育園ではおむつのサブスク導入を検討していますが、導入についてはメリットだけではなく、料金が高額なことやおむつの種類が特定の商品に限られ、希望のおむつを選ぶことができないこと等デメリットもあることを確認しました。他にもも保育場所の確保や園児毎の管理が煩雑になるなどの課題があります。今後いただいたご意見を含め、保護者の荷物負担の軽減につながる方策を検討していきます。	基本方針2
駐車場のない保育園への駐車場設置補助にも市も介入してほしい。	市内の私立保育所、幼稚園、認定こども園等のなかには、保護者の送迎用の駐車場がない施設があることは認識しております。駐車場は外構工事に該当するため、施設整備補助金の対象外となり、現在は補助を行っておりませんが、駐車場設置に係る助成については、各施設における実態把握も限りながら、必要に応じて検討してまいります。	基本方針2
保育園内の事故防止用の設備の設置を進め、市で危険な場所がないかのチェックを欲しい。	公立保育園においては園舎内外は点検表に従って日常点検を実施し、毎月報告書を提出させています。また、園庭遊具の安全性についても毎月点検を実施、報告書の作成・提出を実施しているほか、3年に1度は業者による遊具の確認を実施し、最新の安全基準に適合しない遊具の撤去等を行っています。 市の保育施設に対しては、これまで遊具や危険場所の日常点検に加え、保育に従事する職員向けに事故予防に関する研修を実施してきました。引き続き、安全対策、事故予防に関する取組を考え、実施に努めてまいります。	基本方針2
病児保育が利用できないときに子どもが発熱した場合もそのまま預けられる保育園を設置してほしい。	病児・病後児保育については定員の増に対するニーズもあり、必要な時に病児・病後児保育が利用できるような体制の整備を検討していきます。	基本方針2
認可外施設へのサポートや病児保育へのサポートを増やしてほしい。	東京都の認可保育所等の第1子無償化に合わせて、認可外施設につきましても、第1子無償化を検討していきます。 また、病児保育につきましても、生活保護世帯及び住民税非課税世帯に対する減免制度を実施しています。いただいたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。	基本方針2
保育園などで子どもがけがや危険なことに巻き込まれないようにしてほしい。	必要な場所に、保育士や、用務員を配置して、見守っています。	基本方針2
認定こども園の設置を推進してほしい ほか2件	少子化により、本市における就学前児童数は減少を続けており、子どもを取り巻く環境は変化を続けています。今後の認定こども園の設置につきましては、各地域における就学前児童数及び出生数の推移や今後の幼児教育・保育の需要、国の施策動向を見極めながら、慎重に検討していきます。	基本方針2
出産応援ギフトのタイミングを出産届を受理したタイミングにしたい。	出産応援ギフトと子育て応援ギフトは、国の要綱に基づく出産・子育て応援交付金事業として、妊娠届出時の面談及び出生後の面談を行った後、申請により、出産応援ギフト及び子育て応援ギフトをそれぞれお渡しするものです。経済的支援と併せて併せて実施する予定で、お困りごとやリスクのマネジメントなど妊婦・子育て家庭のニーズに即した効果的な支援となるよう早期の段階から支援を行っており、ご理解いただけますと幸いです。	基本方針2
子供が犯罪に巻き込まれないための教育をしてほしい。	八王子市では、子ども・若者の安全対策として、「ビーボクンの家駆け込み体験訓練」、「キッズパトロール隊防犯教室」などの取り組みを行っています。今後も引き続き、子ども・若者の安全対策を行ってまいります。	基本方針3
川のごみ拾いは大事だと思う ほか5件	川のごみ拾いについては、定期的なみんなの川と町の清掃デーを実施していきます。ぜひ参加してみてください。	基本方針3
遊ぶ時間が足りないの夕焼け小焼けのチャイムの時間を減らしてほしい。 ほか6件	夕焼け小焼けのチャイムは、防災行政無線の機能点検のための放送ではありますが、小学生の帰室を促す一面もあります。そのため、日没時間を考慮して、3月から9月は午後5時1分、10月から2月は午後4時に放送しています。このため、チャイムの放送時間の変更は予定していません。	基本方針3
公園などフリーWi-Fiがある場所を増やしてほしい。 ほか1件	フリーWi-Fiについては市民や来訪者の利便性の向上を目的として、中心市街地や市民センターや図書館、こども科学館などに設置しています。また、はちびババや公園などWi-Fiがなくても遊べる場所があります。特徴のある遊具のある公園や花や植物を楽しめる公園などをホームページでもまとめていますので調べてみてください。	基本方針3
学校に走らないと書いてあるポスターを貼ってほしい。	廊下を走らないことは事故を防止するために重要ですので、ポスターを貼ってもらえないか先生に相談してみてください。また、ポスターの他にも、注意を促す方法が考えられるかもしれません。ぜひ、先生や友だちと相談しながら、よりよい注意喚起の方法について考え、実践してみてください。	基本方針3
スーパーにキッズスペースを作ってください	八王子市では、利用者向けのキッズスペースの設置など子どもにやさしい取り組みをしている企業を子育て応援企業として登録することで、企業の取り組みを推進しています。今後も企業の取組が広がっていくよう子育て応援企業の周知を図っていきます。	基本方針3
近所の歩道で凸凹していてベビーカーで通りにくい道がある。	「工事予定」の看板設置者を確認するためにも、具体的な場所をご提示いただけますようお願いいたします。	基本方針3
多摩都市モノレールを延伸してほしい。	多摩都市モノレールの八王子方面への延伸は、本市のまちづくりにおいて、重要な事業と捉えております。現在、その実現に向け、学識経験者や関係行政機関等で構成する検討会を設置し、様々な課題への対応について議論を進めております。	基本方針3
街灯が少ないところを増やしてほしい ほか6件	街灯には設置する場所や目的に応じて様々な種類があります。皆さんからここにほしいという要望を出してもらい、どの種類の街灯をつけるべきかを考えます。その後法律や場所ごとに定められた条件などを満たしているかが確認できた場合に実際につけることができます。	基本方針3
学校選択制を見直してほしい	令和3年度の学校選択制見直しの際、ご家庭の状況によって指定校を変更できる指定校変更承認基準に「小規模校の特例」を追加し、お子さんの適性を考慮して、就学校を変更できるようにしておりますので、指定校変更承認基準に該当する場合は、指定校を変更することが可能となっております。	基本方針3
柵の設置やコーナードなど公園の安全性を確保してほしい。	一般的に飛び出し防止のため柵などを設置しておりますが、加えて小さなお子様に関しては保護者の方の見守りをお願いしたいと思います。	基本方針3
もっと近くに駅を作ってください	八王子市では、市民の皆さんが移動がしやすいように、交通空白地域がないように努めています。市民の皆さんにとって暮らしやすいまちとなるように、全体のバランスを考えながらまちづくりを行ってまいります。	基本方針3
落し物が多いので交番が欲しい	交番や駐在所はその地域の昼夜の人口、世帯数、面積や治安状況などを考えて場所が決められています。落し物の届出は、どこでも警察署・交番・駐在所でもできますので、近いところを探してみてください。また、駅やお店などで見つけた場合は店員やお店のスタッフなどに届けてください。	基本方針3
どんな災害でも安心できる建物を作ってください。	学校など避難所になっている建物は地震に耐えられる基準を満たすように作られています。地震の発生後は安全を確認してから避難所に避難してください。	基本方針3
災害対策を充実させてほしい	災害が起きた際に、市民の生命、身体及び財産を守るため、平常時から行う予防対策や災害が発生したときの対応などを定めた「八王子市地域防災計画」を作成しています。この計画は、実災害から得た教訓や地震の被害想定などを踏まえて適宜修正を行っており、現在も令和6年能登半島地震などを踏まえた修正を行っています。今後もこの計画に基づき、災害対策を推進していきます。	基本方針3
保育園、幼稚園、図書館などを増やしてほしい ほか1件	公共施設の設置は全市のバランスを考えて行っています。できる限りみんなが使いやすいように整備していきます。	基本方針3
信号について意見がある ほか11件	信号に関する要望は警視庁のホームページで受け付けています。「警視庁 信号機BOX」で検索してみてください。	基本方針3
公立小学校の集団登下校義務化もしくは全校スクールバスを導入してほしい	集団下校時の指導については各学校で計画に行っています。 また、徒歩により通学が困難な地域から、通学区域内又は選択区域、許可区域内の市立小学校及び中学校へ交通機関等を利用して通学している児童・生徒の保護者に対して、通学費の一部を補助しています。今後も通学の安全確保及び保護者の負担軽減のため取り組んでいきます。	基本方針3

信号のない横断歩道でも安全確認をしてから渡った方がよい	八王子市では、幼児から高齢者まで交通安全教育を行っています。提案していただいた内容はとても素晴らしいです。信号があってもなくても、右左を確認する、手を挙げて渡ることは安全に横断歩道を渡るためにも大切なことです。横断歩道を渡る時は、渡る前に車の運転手さんと目を合わせて「渡りますよ。止まってくれてありがとう。」と意思表示してから渡るように教えています。今後も、交通安全のルールについて交通安全イベントや交通安全教室、ホームページやSNSなどで発信し、安全に事故なく過ごせるよう啓発していきます。	基本方針3
車のマナーを守ってほしい ほか1件	騒音やスピードを出して走行するなどの危険な車がいる場所については、警察署に相談しパトロールや取り締まりを強化して貰っています。八王子市では、車のマナーや運転について、東京都や民間企業と協力して自動車運転シミュレータ等を活用した安全運転講座や高速道路や道の駅等で車やバイクの運転者に対して交通安全イベントを実施しています。また、町会や自治会、学校などから要望があった場所については現地を調査して「スピード注意」など交通安全に関する注意喚起ステッカー等の設置をして対策もしています。	基本方針3
自転車用の道路を増やしてほしい。	自転車の走行空間の確保は歩行者の安全を守るためにも重要です。このため、市では、「自転車利用環境整備計画(平成28年)」に基づき自転車走行空間の整備を進めており、引き続き自転車利用者や歩行者の安全性の向上に努めます。また、歩道を歩いている方が自転車とぶつかることはあってはならないことです。皆さんが歩道を安心して歩くことができるように努めています。具体的には自転車は原則、車道を通行しなければなりません。年齢や標識によって例外的に歩道を自転車が行き通る場合でも、歩行者を邪魔するような走り方をしてはいけません。自転車を利用する方には正しい交通ルールをマナーを教えます。	基本方針3
ガードレールを付けて欲しい。	歩道をおく人や自転車等を守るガードレールは、速い車がおとる道路やカーブのある道路など、車が飛び込んできたら危険が大きい場所に、警察と話し合いをして設置するようにしています。ガードレールを新しく設置することについては、このように一定のルールがあります。もし危険と感じる道路や場所を見かけたら、いつでもご相談ください。	基本方針3
カーブミラーを付けてほしい	カーブミラーの設置に関しては、ご要望の内容を審査し、現地調査を行います。設置の条件としては、(1)原則として八王子市道であること(2)地域の町会又は地区代表要望でかつ近隣住民の同意があること(3)運転者が法令等を厳守し、かつ当該箇所における危険を認識した中で、その現地の危険に対する確認が不可能、又は困難な道路箇所等の設置条件を十分検討し、設置の可否を判断します。	基本方針3
道を広くしてほしい ほか1件	市では道路を広くする事業を行っておりますが、それには、地元の皆様からの要望や、道路に隣接する土地を所有している方々の協力、土地の提供など様々な調整が必要になります。また、道路の構造として広くできない場所もありますので、具体的に道路を広くしてほしい場所をご提示いただきたいと思います。	基本方針3
道路のくぼみや割れ目をなくしてほしい	道路の穴を放置しておくとは非常に危険ですので、補修センター(042-625-3526)まで電話でご連絡ください。その際に、(1)穴の空いている住所、または目標となるもの(2)穴の大きさ(3)穴の深さを担当者にお伝えいただくようお願いいたします。	基本方針3
おかしなねだんを下げたい	駄菓子屋をたくさん食べたい気持ちは理解できますが、一方でお菓子の食べすぎは虫歯や肥満のリスクがあります。栄養バランスの取れた食事をしっかりと摂り、駄菓子屋を含めお菓子は適度に楽しむのが良いのではないのでしょうか。	基本方針3
子ども食堂を作りたいと思った。	八王子市では、子ども食堂の立上げを支援する取組として地域子ども支援事業を行っていますが、具体的に子ども食堂を立ち上げる前に実際に子ども食堂でご飯を食べてみたり、ボランティアとして参加してみるのも良いかもしれません。	基本方針3
地域の団体への支援について、新規の団体への支援が十分に行き届いていない。	地域の団体への支援について、新規の団体が増えることは重要だと考えており、市としても新規団体の支援は積極的に行っているところですが、支援については、新規団体であるか既存の団体であるかを問わず、営利目的でないなど一定の基準がある場合があります。	基本方針3
子育て応援サポーターなどの情報発信において、現役の子育て世代をもっと巻き込んでほしい。	子育て応援サポーターは知名度の高いインフルエンサーを活用して子育てに関するPRを行っている事業です。子育て応援サポーターの取組が現役の子育て世代を通じて2次的に波及していくよう取組を進めていきます。	基本方針3
「親子つどいの広場」や「市民活動支援センター」などの情報共有が行える地域の周知を新しい団体にもっとしてほしい。	様々な情報共有の場である親子つどいの広場の広報強化に努めます。また、市民活動支援センターでは、子育て支援に関する事業を実施する際には、「はちこコミニ」や市民活動支援センターのホームページに記事を掲載するほか、SNSでの発信、市設でのチラシ配布など広く情報提供を行っています。	基本方針3
ごみ箱の設置などでポイ捨てを減らしてほしい ほか19件	市内小学4年生児童を対象に不法投棄やポイ捨てなど、ごみ問題全般に関する啓発ポスターの作成をお願いします。集まったポスターはJR八王子駅北口地下自由通路に掲出した後、不法投棄(ポイ捨て)が多い場所などに設置して、市民の皆さんにごみ問題の啓発を行います。	基本方針3
八王子の自然や道、道路もときわにきれいにしてほしい	定期的に清掃を実施し市の美化に取り組みます。ぜひ参加してみてください。	基本方針3
4R運動を積極的に推進してほしい	市では、ホームページ等で3Rの取り組みについて呼びかけています。リフューズについては、壊れてしまった物を修理や修繕しながら長く使い続ける「リペア」の考え方と合わせて、市民の皆さんに広く周知啓発する方法を検討していきます。	基本方針3
障害児に関する手当の所得制限を撤廃してほしい	障害児に係る手当については、国や都において定めている法令により所得制限が設定されているところであり、所得によらない支援の必要につきましては、機会を捉えて国等に御意見を伝えて参ります。また、タクシー・ガソリン費助成券につきましては、当該法令や都の例規に準じた制度となっているため、国や都における方針を勘案し、制度構築にあたって参ります。	基本方針4
訪問支援、デイサービスの利用について、後ほど返金はあるものの自己負担金の支払いが高額になってしまふので、月々の支払いについて考えてほしい。	子育て中の課税世帯の負担軽減については、非課税世帯と比べての適正な負担割合や、子育て支援としての施策全体の見直しなど、国等において根本的な議論が必要ではないかと認識しています。所得によらず障害児の放課後の居場所や発達を支援するため、機会をとらえて国等に御意見を伝えてまいります。	基本方針4
困ってる人を助けてほしい	困っている人が相談できる場所としてはちまるサポートを設置しています。相談内容は年齢や性別、障がいの有無などは問いません。「困っているけれどどこに相談していいかわからない」というご相談も受け付けています。家族や友だちなど、困っている人がいたら、一人で抱え込まずこうした相談場所を紹介してあげてください。	基本方針4
外国人の生活をしやすいしてほしい	外国人市民へのコミュニケーション・生活支援として、相談窓口「在住外国人サポートデスク」の開設、多言語による情報提供、やさしい日本語の普及啓発などを行っています。また、日本語を母語としない子どもたちを対象に、地域での居場所として「多文化キッズサロン」を開設し、日本語学習支援・教科学習支援などを行っています。	基本方針4
八王子の観光スポットを発信するためポスターや看板の掲示をして欲しい ほか1件	観光スポットは市内各地に数多くあることから、施設情報盛り込むことができ、かつ情報を更新しやすいパンフレット、HP、SNS等の媒体でPRをしてあります。なお、市内で開催されるイベントについては、開催時期に応じて町会・自治会の掲示板を中心に、市内各地でポスター等を掲示してあります。	その他
計画に学校教育に関することを取り入れて欲しい。	学校教育に関する施策については、教育振興基本計画に記載していますが、それぞれの計画とも連携をはかりながら、児童・生徒の皆さんの思いや願いを活かした教育活動を展開できるよう施策を実施していきます。	その他
食品ロスを減らした方がよい	市民の皆さんが食品の購入時や調理・飲食時などに食品を無駄にしない取り組みができるよう、イベントや啓発物などを利用した周知を行っています。また、食品ロス削減マッチングサービス「タベスケHachioji」を利用して、お店の食品ロス削減に貢献しています。今後も、組成分析調査などを実施して、市内地域の食品ロスの実態に即した啓発を実施していきます。	その他
環境問題の具体的な取り組みを推進し、市民ができる対策も教えてほしい	八王子市環境基本計画では、個別施策ごとに「市民に期待される取組」として皆様に取り組んでいただきたい内容を具体的に記載しています。また、北野環境学習センター(あったかホール)は、環境教育・学習の拠点として、エコひばりやクールセンター八王子、生きもの展示室など様々な施設が集まっており、地球温暖化対策や生物多様性、リサイクルなど幅広い環境について学ぶことができる施設です。個人が参加できる講座やイベント等も実施しておりますので是非お立ち寄りください。	その他

SDGsをもっと推進してほしい ほか1件	<p>八王子市は「八王子未来デザイン2040」という計画を進めることで、SDGsを達成できると考えています。この計画には37の取組施策があり、それぞれがSDGsの17の目標とつながっています。市のいろいろな部署が行っているイベントや活動は、SDGsを意識しています。</p> <p>ごみのポイ捨ての防止の観点では、市内小学4年生児童が作成した、不法投棄やポイ捨てなどのごみ問題全般に関する啓発ポスターをJR八王子駅北口地下自由通路に掲出した後、不法投棄（ポイ捨て）が多い場所などに設置し、市民の皆さんにごみ問題の啓発を行っています。</p> <p>食品ロスの削減としては、市民の皆さんが食品の購入時や調理・飲食時などに食品を無駄にしない取り組みができるよう、イベントや啓発物などを利用した周知を行っています。</p> <p>地球温暖化対策としては、環境に配慮することの大切さや環境を守るための身近な活動の実践を市民一人ひとりに促し、ゼロカーボンシティや持続可能な社会（SDGs）の実現にむけた歩みをひとつずつ前に進めていくことをねらいとして、毎年環境月間の6月に「八王子環境フェスティバル」を開催しているほか、地球温暖化を防ぐために子どもが参加できるソーラークッキングや子どもエコフェスなどの楽しいイベントを開催しています。みんながイベントに参加いただくことで、太陽光発電やリサイクルなどについて学び、地球を守るためにできる行動の変化を促し、将来に向けた環境確保の意識醸成を図っています。</p>	その他
品物を安くしてほしい。 ほか1件	モノの値段を直接下げるとは難しいですが、八王子市では低所得者向けの臨時給付金など物価高の対策を行っているほか、子育て世帯向けの臨時給付金を検討しています。今後も物価高の影響について注視していきます。	その他
税金を安くしてほしい ほか3件	皆さんに納めていただく税金（市税）は、道路や公園、学校、図書館の整備や維持管理に使われているほか、子育て世帯やお年寄り、障害者の支援などに必要な財源となっています。今後は、人口減少・少子高齢化がますます進行し、社会福祉に関わる費用は上昇する一方で、働く世代が減少することから税収は減少することが見込まれており、減税の実現は難しい状況となっています。既存の行政サービスの質を低下させることなく、八王子市が持続可能なまちであり続けるためには、いただいた御意見のように、既存事業の見直しや公共施設の再編が必要です。今後も、効果・効率的な行政運営に努めてまいりますので、御理解と御協力をお願いいたします。	その他
高齢者施設を増やしてほしい ほか1件	高齢者施設については、八王子市高齢者計画・第9期介護保険事業計画で整備方針を定めており、今後の需要を予測しながら整備を進めていきます。	その他
八王子市の農業を増やしてほしい	新たに農家になりたい人に対し、市は農業で使用する機械を購入する際の補助金を交付したり、使用していない農地を借りるための支援を行っています。今後も市内で作った野菜が学校給食などを通じて多くの皆さんに提供ができるよう支援していきます。	その他
自動販売機を減らしてほしい	自動販売機は民間企業が土地の所有者の意向で設置しているものです。自動販売機は夜に明かりを提供したり、防犯カメラが設置されていたりすることから、防犯対策としてもメリットがあり、また、災害時に無償で飲み物がとれるようになる機種もあることから防災にも役に立っており、減らさなければならないものとは考えていません。	その他
渋滞を減らすために自動運転の利用を推進してほしい	現在各地域で生じている路線バス減便の主要因は、バス運転手不足によるもので、自動運転の導入は、この対策の一つと考えております。そのため、自動運転の実証実験実施に向けた取り組みを今後推進していく予定です。一方、渋滞については、発生場所の特性やその要因について整理しながら市としての対応を図ってまいります。	その他
意見なし ほか15件		その他